

第27回 長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会 議事録

日時：令和4年11月24日（木）

午後1時30分～午後2時20分

場所：長野市役所講堂

出席委員：6名

竜野委員、金澤委員、越原委員、塚田委員、石川委員、吉川委員

欠席委員：1名

柳瀬委員

1 開会

2 長野市都市整備部長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 諮問

もんぜんぷら座敷地の利活用について

5 議事

(1) もんぜんぷら座の現状及び検討経過について

資料1について、事務局から説明

発言者	発言内容
委員	10年後を目途に建物解体が決まっているが、解体費用は概算等を出しているのか。
事務局	概々算で約13億円掛かるのではないかと想定している。

(2) もんぜんぷら座敷地の利活用に関する検討部会の設置について

資料2 資料3について事務局から説明 ※資料3は予定案のため非公開

発言者	発言内容
委員	前回の委員会で、土地所有の権利者の方に寄り添って進めて欲しいと発言したが、どのようになっているのか伺いたい。
事務局	借地部分2名の地権者のうち代表の方と話をし、検討に着手すること、今後の検討に際しての協力にご理解をいただいている。今後、検討の状況等を適時報告等しながら進めていきたい。
委員	今後、新田町交差点界隈の計画を練る上で、検討部会のメンバーだけでは情報が不足してくるのではないかと。 トイゴは新しくできた建物だが、それ以外の四つ角の辺りには、古い建物も並んでいる。この新田町交差点界隈をどのようにまちづくりするかということになると思うので、その方々の意見も聞いた上で進めて欲しい。
事務局	トイゴともんぜんぷら座は長野市の所有で、トイゴは整備を終

	<p>えている。他2つの街区があり、建て替えや修繕が必要な建物を抱えている方もおられると思うので、土地や建物の権利者の方々の意向、まちに対しての将来像も聞きながら検討を進めていきたい。進め方については、地元の方などと相談しながら進めていきたい。</p>
委員	<p>資料2で検討部会の目的の3番目に新田町交差点周辺のまちづくりに関する事とあるが、むしろこれを一番基本のベースにして考えていくことだと思う。</p> <p>例えば、もんぜんぷら座を壊す前の十年間に、先にその老朽化した建物を壊して、何か大きな構想に繋がるような利活用も十分に考えられる。大掛かりな話になるが、この検討部会だけではなく何かワーキンググループ、オフィシャルになると進むものが進まなくなり難しいところだと思うが、一部分のポイントではなく面としての考え方を有意義に進めていけるやり方を作った方がよいと思う。</p> <p>もんぜんぷら座をどうするかによって、大きくまちが変わってくる。今のこのやり方だともんぜんぷら座が中心になってしまい、周辺の銀行や低未利用地のところが仲間になりにくいので、ダイナミックな図面を書けない。</p> <p>ワーキンググループのような余地を持ちながら進めて、仲間外れがないように胸襟開いて、オフィシャルだと本音が出てこないところがあるので、うまく調整して進めていただきたい。</p>
事務局	<p>もんぜんぷら座の敷地利活用検討部会の目的で触れたとおり、新田町交差点周辺も考えていかなければいけないと考えている。</p> <p>部会に対して提案をするような、先ほどご意見をいただいたワーキンググループ、作業部会のようなもので、周辺のまちづくりも考えていただける方も含めて議論をし、部会の中でさらに議論していただくような形も考えている。</p> <p>ワーキンググループには部会委員、また、必要な方にも参画していただき、柔軟に対応できる組織を検討していきたいと考えている。</p>
委員	<p>ぜひ、作業部会なりを設けて、多くの人に関わってもらった方がよいと思う。もう少し若い世代の人たちにも入ってもらいたい。</p> <p>今まで、まちづくりのワーキンググループを作っても、参加した人たちに、徒労感が大きく残ったことが多いように思うので、参加者には自由に夢を描くより、現実の条件を具体的に示しながら、現実的な討議ができるワーキンググループにしていきたい。</p>
事務局	<p>ご意見に沿うワーキンググループにしていきたい。</p>
委員	<p>令和6年になると長野市を取り巻く環境が大きく変化し始めるので、できるだけ早く、一日でも早く中心市街地の中央にあるもんぜんぷら座の場所を変化させていかないといけない。地域間競争が始まる</p>

	<p>前ぐらいに、よい施設をしっかりと作り込み答申するタイミングがあった方がよいと思う。</p> <p>再来年になると地域間競争が始まるので、環境が変わることを心しておいて欲しい。ぜひピッチを上げて頑張ってください。</p>
事務局	<p>部会の目的は、敷地利活用の検討から入っているが、新田町交差点周辺のまちづくりに重きを置いている。</p> <p>長野中央西地区市街地総合再生基本計画の重点プロジェクトで新田町交差点周辺エリアを挙げており、基本的には周辺も含めて、もんぜんぷら座の在り方、どの機能が必要で残すのか既存機能の取り扱いなどの検討も出てくると考えている。</p> <p>機能の取り扱いに関しては、取り壊し後に戻るとなると仮の引越しが生じ、いかに移転をスムーズに行うのか総合的に検討する中で、もんぜんぷら座敷地の一つのポイントだけでなく、交差点周辺も含め官民連携の中で協力して、ある程度のエリアの中でないと具体的によいものがないと考えている。</p> <p>工程表の期間だけ見ると令和12年は先のように思えるが、これから検討の第一歩を部会の方とともに進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>もんぜんぷら座の点だけで考えるのではなく、中心市街地全体で、特にこの新田町交差点は銀行もあるので、その周辺と一体化して考えた方がよいとの意見は、そのとおりだと思う。</p> <p>先ほど解体費用の話もあったが、建物は一回作ると50年、60年くらい残る。解体すると、それなりの費用がかかるのであるから、今このような施設が必要だから欲しいと言って建てるのではなく、50年、60年残っていくものとして考えてもらいたい。</p>

質疑応答後、部会設置及びその構成について採決し、出席委員全員賛成で了承

(3) その他

なし

6 その他

7 閉会